

2021年4月2日（金）山梨英和大学入学式

朴 憲郁 学長 式辞

桜満開の春を迎えて、このたび山梨英和大学にご入学なさった皆さん、おめでとうございます。そして、背後で支えてお育てくださる保護者の方々に、心よりお慶び申し上げます。

山梨英和大学は、3つの認定こども園と1つの女子中学・高等学校とを合わせた「山梨英和学院」を母体とする山梨県下唯一の人文系プロテスタント・キリスト教学校に属しています。1966年に短期大学が設置されましたが、そこから発展して2002年には横根町に、美しい山麓のブドウ園に囲まれた現在のキャンパスと校舎を構えて、4年制の人間文化学部人間文化学科として開学し、さらにその2年後の2004年に臨床心理学専攻（修士課程）が大学院として設置されました。

明治時代の山梨英和女学校時代から数えますと創立132年の歴史をもち、時代の風雪に耐えて、世界の古典名著ともなっている神の言葉としての「聖書」の教えに基づく人格教育と研究に励んで今日に至っております。

今日から4年間のキャンパスライフが始まりますが、御存知の通り、昨年の4月初めから予期せぬCovid-19感染拡大の脅威を回避し防御するため一斉にキャンパスを封鎖せざるを得なくなり、on lineでの授業や面談に切り替える制約を被り、財政面を含めて学生たちの学業に甚大な支障をきたしましたが、夏休み明け頃からようやく対面とon lineとの組み合わせで教学を維持してまいりましたが、今年度も当分はこの方針で進めざるを得ません。ご理解くださり、相互の安全に細心の注意を払いつつ、忍耐と知恵によって少しでも健全なキャンパスライフを実現して参りたいと願っています。

本学に入学なさった皆さんは、これから3つの学問領域のカリキュラムに従って学んでいかれます。1つ目の領域はサイコロジカル・サービス、2つ目の領域はグローバル・スタディーズ、3つ目の領域はメディア・サイエンスです。

また大学院人間文化研究科臨床心理専攻は、日本臨床心理士資格認定協会から1種指定校の認定を受けた山梨県で唯一の臨床心理士養成大学院です。

小規模ながらも充実したカリキュラムを展開している所以は、長い歴史と伝統の中で培われて来たキリスト教精神に基づく3つの校訓（①敬神、②愛人、③自修）にあります。この3つの校訓はいずれも崇高で素晴らしいものであって、それを別の言葉で意味づけるとすれば、万人に共通することではありますが、人間は3つの関係性の中に生きるということです。関係性と申しますと何か難しい話のように聞こえますが、平易に申しますと、人は自分一人で生きることとはできず、他者との語り合い、励まし合い、助け合い、相互理解の中でこそ生きるものです。いや、生きる方策として助け合いが必要だと言うに留まらず、人間はそもそも本質的に関係的存在なのです。それが3つの校訓に表現されています。

しかしこの3つの内の2番目の愛人、つまり人を大切にし、愛するというのはよく分かって、1番目の敬神と3番目の自修は、万人が共通に認識しているものであるとは言えません。いや、多くの方は聞きなれないこの二つを蔑ろにしています。しかし実は、2番目の愛人が真に意味あるものとなるためには、1番目の敬神に立脚していなければなりません。聖書に証言された唯一の神の前に厳粛に立って我が身を振り返り、それによってさらに、自分自身をも真剣に見つめて自己と対話し高めるといふ深みある人間になるのです。それが第3の自修ということ。その意味において、第1と第3の校訓に囲まれて初

めて、第2の校訓が意義あるものとして浮かび上がってきます。

こうした3つの校訓を基礎にして、3つのカリキュラム領域が成立しています。このことを皆さんは、授業やゼミや礼拝などを通して繰り返し修得し、確認していかれるものと信じ、またそう期待いたします。

本日から始まる4年間のキャンパスライフにおいて、大切な青春時代の一齣を、学問の研鑽と学友との交わりと諸活動とに打ち込むチャンスを得た幸いを、神さまが願い、祝しておられます。

2021年4月2日

山梨英和大学 学長 朴 憲郁

